

竹 早 会 報

2002

No. 13



東京府立第二高等女学校同窓会
東京都立竹早高等学校同窓会



竹早山荘はMAPS総合センターとして
MAPSプロラムを推進していきま
MAPS (Mapping Activities for Powerful Spirits)
MAPS総合センターとして、ア
竹早山荘は宿泊施設としてだけ
日中の充実が、週末の過ごし方
用意します。ぜひ自由にご利用
あなただけのお楽しみ、海を
ぜひぜひ、ぜひぜひ、ぜひぜひ



発行日=2002年4月20日
発行=篁会：東京府立第二高等女学校同窓会
東京都立竹早高等学校同窓会
東京都文京区小石川4-2-1
東京都立竹早高等学校内
編集=篁会会報編集委員会
印刷=株式会社 ニットー
東京都文京区千駄木3-22-11
☎03-3821-0210
FAX.03-3823-0064

品里新山早育園
竹早山荘 (MAPS総合センター)
MAPS総合センターとして、ア
竹早山荘は宿泊施設としてだけ
日中の充実が、週末の過ごし方
用意します。ぜひ自由にご利用
あなただけのお楽しみ、海を
ぜひぜひ、ぜひぜひ、ぜひぜひ

●会報委員会
委員長=角掛 隆(高校10回生)
委員=高木萬里子(高校3回生)
山廣 俊雄(高校7回生)
室田 容子(高校8回生)
諸石 一彦(高校9回生)
関 文隆(高校10回生)
内山 光政(高校10回生)
高橋 多助(高校10回生)
池田 明子(高校11回生)
黒瀬 忠雄(高校11回生)
堀江 禮子(高校11回生)
小杉 義信(高校11回生)
岩田 隆子(高校11回生)
河村 恵子(高校12回生)
萩 隆之介(高校12回生)
青木 庸子(高校12回生)
宮田 雄幸(高校12回生)
田中 烈(高校12回生)
山内 享(高校12回生)
長谷川万里子(高校14回生)
渡辺 信博(高校22回生)



平成14年度 篁会総会 のご案内

☆日時：平成14年6月22日(土)
 受付開始：午前10:00～
 総会・講演会：午前10:30～12:00 ベガサスの間(1F)
 懇親会・演奏：正午12:00～14:00 ギャラクシーの間(1F)

☆場所：椿山荘
 ☆会費：7,000円(学生2,000円)
 ◎講演：『良い顔(〇)になろう!!』

…………『コンピュータで探る顔の秘密』
 講師：東京大学教授 原島 博氏
 ◎演奏：《アンサンブルがきつばた》による器楽演奏
 (田中順子(12回卒)さんのグループ)

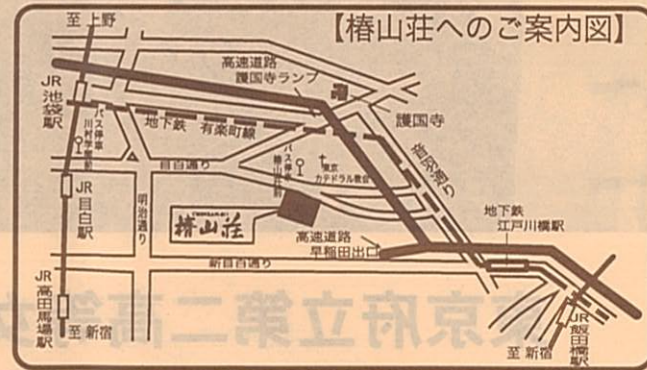
▶母校見学…………懇親会終了後、学校までバスでご案内します。
 ご出席の方は同封の出欠ハガキにてお申し出願います。

ご出席の方は、同封のハガキでお申し込み下さい。平成14年5月22日必着

今回幹事：高校12回生(昭和35年卒)・高校33回生(昭和56年卒)・高校53回生(平成13年卒)
 次回幹事：高校13回生(昭和36年卒)・高校34回生(昭和57年卒)・高校54回生(平成14年卒)

《アクセス》

- 地下鉄ご利用の場合
有楽町線 江戸川橋下車
1a出口より 徒歩 約10分
- バスご利用の場合
JR目白駅改札口右手の
『川村学園前』バス停より
《都バス 椿山荘行・新宿西口行》
にて、『椿山荘前』下車
- タクシーご利用の場合
JR池袋駅・目白駅・高田馬場駅
・飯田橋駅から約10分
- 車ご利用の場合
高速道路5号線銀座方面から早稲田
ランプ出口より約3分



〒112-0014 東京都文京区関口2-10-18
 TEL. 03-3943-1191

ご挨拶

篁会会長 城戸崎 愛

希望に燃え期待をもって迎えた二〇〇一年は、思いもかけない激動の一年でございました。私などは、半世紀前に経験した苦々しい時代の再来かと怯えて、心底から憂鬱な暗い年となってしまいました。皆様は如何お過ごしでしたでしょうか。

同窓会篁会としましては、母校百周年記念行事を遂行するに当たって、この数年間(私の任期中)皆様の御支援、御協力を得てお陰様をもちまして何とか無事に終える事が出来ました。私達老年、中年、若年の仲間達、意見のずれ、ものの尺度の違いは多少ありましても、皆少しずつ譲歩しながら結束して事に当たってまいりました。皆様の各々の御希望に添いたいと努力してまいりましたが期待はずれの事、手落ちのありました事、本当に申し訳なく、ここに責任を痛感している次第でございます。

「聞いたって、いいじゃないか。人間だもの」と独りよがりの言いわけですが、お許し頂ければ幸いです。
 過日、遠縁の茶のみ友達と「老い」について語り合つて時を過ごしました。彼は元経営者。今は悠々自適の一人暮らしを楽しんでいる人で、同世代を共に過ごした者同志だけに通じる会話でしたが、M.K.カンデーの七戒をどう思うかと聞かれシヨックを受けました。
 「カンデーの七戒」(一九四八年一月三〇日に亡くなったカンデー)「原則なき政治 道徳なき商業 労働なき富 人間性なき科学 人格なき教育 倫理なき悦楽 犠牲なき宗教」
 彼はこれにつけ加えて

「反省なき権力 哲学なき経営 対話なき家庭 ケジメなき若者」と皮肉っぽく苦笑してツブヤイテいましたが、これからの時代、人それぞれの立場で真摯に謙虚に一言一言をかみしめて暮らしていきたいと、私は思いました。

皆様は如何感じられましたでしょうか。いよいよ世代交替の時期になりました。「日本再生への鍵は？」と巷では問われているこの頃、篁会も学校と密に手を携えて誇りをもって伝統を守り、語り継がれていくべきだと存じます。そして羽ばたいて頂きたい。

最後におぼつかない私が大役をお引き受けてこの方、皆様に支えられて務めを果たす事が出来ました。この紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。有難うございました。最後に母校のさらなる発展と、会員の皆様の御繁栄、御健勝を心よりお祈り申し上げ御挨拶とさせていただきます。



竹早高等学校校長 磯山 進

篁会の皆様には日頃から母校の教育活動に對しまして温かいご支援・ご協力を賜りまして厚く感謝申し上げます。

わけても昨年は創立百周年記念の一環として「夢の風」と題するモノコメントをヒマラヤ杉の傍らに建立して戴きました。同窓生の陶芸家伊藤麻沙人氏と彫刻家小堀良一氏の制作になるもので、紺青の広い海原に向かって、爽やかな風に吹かれながら、のびやかにフルートを奏でている少女の姿は、見る者を暫しメルヘンの世界に誘ってくれます。

また「篁基金」からは、和太鼓や図書館用パソコン、額縁、ホリゾント用プラインド、校門・体育館の校章等を寄贈して戴きました。誠にありがとうございました。

私たちが教職員一同も皆様のご厚情に応えるべく教育活動に意を尽くして参る所存でございます。
 お陰さまで生徒たちも日々の学業はもとより部活動や学校行事に積極的に取り組み、その成果には目を見張るものも少なくありません。卒業生の進路を見てみますと、平成十二年度には現浪合わせで国公立では東大、九大、東京芸大、筑波大、都立大、東京学芸大などに二十名が合格し、私立では所謂難関校を含めて延べ三百五十九名が合格しております。しかも竹早高校の特徴は現役合格率の高ことです。十三年度も期待がもてるのではないかと考えております。

他方、部活動では昨年度、陸上部の男子生徒が関東大会に出場し、水泳部の男子生徒が全国大会に出場致しました。また、女子バレー部は秋の新人リーグ戦で優勝して新人選手権大会に出場、ベスト32に進みました。そしてブラスバンド部は夏の高等学校吹奏楽コンクールB組で銀賞を獲得しました。生徒たちは更なる飛躍を目指して日々の活動に取り組んでおります。

また生徒会活動でも竹早高校生らしい活動が目を見えます。竹早祭で古本市を催した図書委員会は売上金を点字図書館に寄付し、また生徒会ではユニセフ週間に募金活動をし三万七千数百円の浄財を募り、文化祭での飲食団体の利益金と合わせ、十万六千円余をユニセフに寄付しました。

私たちはこのような生徒たちをお預かりしていることを誇りに思うと同時に、教育への責任と畏れを感じないわけにはまいりません。ところで現在、都立高校は改革の渦中にあり、本年度から始まった学校週五日制の下、来年度の高校入試からは学区が撤廃されます。どこに住んでいても行きたい高校を受験できることになる訳です。こうした流れのなかで本校が伝統校としての誇りを維持し、多くの受験生の憧れの高校となるために私たちは創意工夫を凝らした一層の努力を継続していく心算です。また本校の教育活動を広く外に開き、発信していくと思えます。

そして地域や保護者、同窓会の皆様の忌憚のないご意見を伺うなかで教育活動の改善を図っていく所存でおりますので、今後ともご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。
 最後にありますが、同窓会の皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念致しましてご挨拶と致します。



関西笛会会長 野田朱實 高校7回

笛会の皆様、お元気でいらっしゃいますか。私はこの度、河合道子様のあとを引き継ぎ、未熟ながら関西笛会会長をお受けすることにになりました。河合前会長同様どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

新世紀スタートから早二年、二〇〇二年の初日は、皆様、どのように迎えられたでしょうか。今回手元にある会報「笛」の創刊から最新号まで読む機会を得、改めて母校の歴史と良き伝統を感じました。創刊は創立九十周年記念とあり、関西笛会内藤会長の祝辞もうれしく、二号から在校生中心より卒業生の近況、校舍改築報告など変更あり、今の立派な会報までのご苦労が察しられました。特に百周年記念の二冊は座談会二つ、「竹早はいま」「百周年と私達」で指導の先生方、卒業生、授業と両立の在校生達のパワーに団結の強さと竹早魂を読み、行事の成功につながったのでしょうか。関西笛会でも総会に合わせて会報を発送し同窓会へお誘いしています。明るく楽しい同窓会が友情と心の交流の場であり、お一人でも多くのご出席を心からお待ちしております。

昨年の九月九日、関西笛会総会が京都センチュリーホテルで、東京から磯山進校長、城戸崎愛会長、小山豊子副会長、多くの会員を迎えて開催されました。総会で今期役員改選があり多数賛成を頂き、新役員紹介の後、「映像でたどる竹早の百年」のビデオ上映に入り、百周年式典での感激を関西で再び味わって頂けました。会食歓談の間に、百周年全体と祝賀会総務を担当された小山副会長より報告があり、先に出版されている写真集「たずさえて友と」を会場に置き、出席の方々に直接手にして見ていただきました。出席の皆様のご紹介と近況のお話に、時の経つのも忘れるほどで、全員の第二高女と竹早の校歌合唱でお開きとなりました。

さて、今年の関西笛会総会は、十月二十七日(日)に少し趣を変えて、神戸は灘の「酒蔵」をかりて開きたいと予定しています。あの大震災から復興して、より近代的な名所になりました。庭の萩の花も見頃とかで、秋の一日どうぞお出かけ下さいませ。

日時：十四年十月二十七日(日) 午前十一時半～十四時半
場所：神戸酒心館「さかばやし」〇七八八四一―二六二二
笛会のご発展を心よりお祈り申し上げます。



湘南笛会会長 松本紀子 高女41回

「希望に満ちた未来を」

呼びもどすことの出来ない二〇〇一年は、内外共に激動のうちに去り、揺れ動く国際情勢の中、新しい年を迎えましたが、どの様に時代は移っても、湘南の海に浮かぶ緑の江の島と海岸から眺める富士山は、いつも美しく輝き、希望に満ちた未来を切り開いていこうという勇気を私達に与えてくれます。

去年の湘南笛会は、初夏の陽射しを思わせる五月三十日、城戸崎会長、小山副会長を始め、関西・東京からの皆様を迎え、総勢五十名、にぎやかな集いとなりました。

高女二十九回ご卒業、最年長の井上欣子様、そして傘寿・米寿・卒寿を迎えられた大先輩の方々のお健やかなお姿に、いつもながら敬服する次第です。

楽しいお食事の後、場内が暗転、「映像でたどる竹早の百年」のビデオ放映があり、制作者のご苦労を思い、貴重な母校の歴史に感慨深く、喰い入る様に眺め、皆さんから大きな拍手を送りました。

毎年総会の折に校歌斉唱をしましたが、それ以外の歌の掘り起こしを試み、祝歌・送別会の歌を竹早高校の音楽担当の岡本康彦先生が移調、ピアノのパートも完成、八月三十日に先生をお迎えし、有志が集まり、録音することが出来ました。

この歌に関して、会報四号の大正元年度卒業生送別会の記事によれば「歌詞は和田教論、曲符は大和田教論の新作今日の趣向は多々あれど、人をして感涙に双の袂を沾ほさしめしは、実に此の一曲にぞあるべき」とあり、「咲く花を見捨ててかへる」と在校生が、「ひとつ舎にいくとせ学びむつみし」と卒業生が互いに歌い交す、姉妹の情愛がひしひしと伝わる名曲で、それぞれご自身の女学生時代の姿を重ね合わせ感慨一入の思いがこみ上げて来ました。

今年の湘南笛会は高校十二回田中順子さんの所属されるアンサンブル「かきつばた」の弦楽四重奏の華やかな演奏とコーラスを七里ヶ浜の波間に響かせようと楽しみにしています。湘南笛会に皆様お誘い合わせお出かけ下さいませ。

とき：平成十四年五月三十日(木) 正午開会(受付十二時半)と
ころ：鎌倉プリンスホテル 〇四六七―三二一―二二
会費：七千円
連絡先：田村美登利幹事まで 〇四六七―三二一―〇三六二

佐賀宗久先生



プロフィール

一九一九年富山県生れ。東大文学部倫理学科卒業。
一九四二年より軍隊。一九五一年都立竹早高校教諭、
社会科担当。一九六三年帰郷。県立高校長や図書館長
を経て一九九七年まで洗足魚津短大講師。
現在八十三歳。日々仏教に親しみ暮らす。

今昔

昔々、竹早高校での十年あまり私は社会科の一教員として生徒諸君に一体何を教えたのかとなると、今も忸怩たる思いだけが残っている。何年か前に中学生だった孫娘に「読み書きそろばん」はともかく、歴史を学んだり暗記することにどんな意味があるのかと問われて困惑したことがある。かつて読んだ岩波文庫のベルンハイムなど勿論役に立たない。昨今テレビでなぜ勉強が必要なのかという子供たちの素朴な疑問が話題になっていくことも知った。しかしおそらく、万人が納得する唯一の答えなどはない。人それぞれに人生があるように考え方も百人百様だからである。

よく日本人に信仰心があるかと論ぜられる。しかし人間にそもそも信仰が必要かどうかは難問である。信仰の機縁と一般にいわれる老、病、死もその受け取り方となると千差万別だからである。しかも元氣な間の考え方や信仰が臨死の時にもそのまま変らないかどうかは誰も死んだ経験がないのだから全く知りようがない。私はただ晩年の親鸞が仏とは「じねん(自然)」の

やう(様)を知らせん料なり」といったことを今も信じている。日本語で宗教と訳されているリリジョンという言葉はもともと「結びつける」という意味だそうだが、確かに宗教や信仰は神仏と人間とを結びつけるかもしれないが、人と人との間は全然結びつけないようである。今も地球上では盲信か妄想か判然としないが殺し合いが続いている。

ところで果てしなくテロを実行する一部のイスラム教徒や、それに報復の戦争をしかけるアメリカ人その他の人々にも歴史の知識が役立つているのだろうか。また前世紀と少しも変らず愚かに繰り返されている人間同士の殺し合いもやはり「じねんのやう」に含まれているのであろうか。ともに私にはよく分からない。

(二〇〇一年十二月)

先生のご近況

本年一月下旬、白内障手術をされ、入院生活をされた以外、至ってお元気で、奥様ともども、旅行を楽しまれ、寺院巡りなどもなさっておられます。(編集子)

《佐賀先生のご連絡先》

〒938・0066
富山県黒部市生地二八五
TEL・〇七六一五六一八六三二



百年に息づく青春のきらめき 創立百周年事業を振り返る

平成十四年(二〇〇二年)一月二十日
東京都立竹早高等学校コンピュータ室に於て

◆出席：()発言順

坂原 富美代先生

(平成九年赴任。国語科担当)

永田 正博先生

(平成四年赴任。国語科担当)

中原 道高先生

(平成二年赴任。美術科担当)

細田 盛夫先生

(平成八年赴任。地歴科担当)

司会：青木 庸子(高校十二回)



◆実行委員会の発足

司会 本日は、平成十二(西暦二〇〇〇)年十一月十八日の創立百周年式典、写真集「たずさえて友とや、ビデオ」映

像でたどる竹早の百年」、更にこれから発行される「記念誌作成に大いに尽力頂きました先生方にお集まり頂きました。まず、この事業にどんな風に関わられたのかといった辺りから、お聞かせ下さい。

坂原(敬称略・以下同じ) 平成九年に母校でもある竹早高校に赴任し、息つく暇もないままに、百周年記念事業の実行委員会に組み込まれてしまいました。実は五年も前から、算会側では百周年記念事業をの聲が上がっており、高校側でも、当時の高原先生を中心に早期着手の動きが出ていたのですが、実際に動き始めたのは、私の来た平成九年の夏からでした。最初は五名で動き始め、最終的には十名が実行委員として写真集、式典、映像等全てを切り盛りしました。十名が全員クラス担任であるという状態は負担が大きすぎるので避け、担任外が必ず数名居る形にして、工夫致しました。

永田 実は、私の家内がこちらの卒業生なものですから、百周年事業には先ず家内の為に、その次に竹早高校の為に、お手伝いをしようと思つて臨みました。式典の行われた年に、私は、入学式や卒業式を企画・運営する部署である学校の総務部担当で、かつ実行委員の一員でありましたから、実行委員会と他の一般の先生方とのパイプ役、例えば

式典当日の生徒諸君の入場の仕方とか「父母と教師の会」の皆様方のお手伝いの分擔案等を練りました。

中原 偶々、私がこの学校で、コンピュータを活用した新聞を作る研究を進めていた関係で、まず、委員会の作業内容や進捗状況を他の先生方や父母、生徒達に知ってもらおうと「百周年記念通信」という新聞を発行することにしました。夏休みの八月と二月だけは入試との関連でお休みの月例発行です。創刊号では、式典当日までを計算して、「あと一〇八七日」と掲出しました。まだ随分余裕だと思いましたが、回数を重ねるに従い段々「あと何日」の数字が小さくなって来て、気分が盛り上がってききましたね。全部で二十五号まで発行しました。

細田 着任の翌年から、百周年事業に関わるようになりました。社会科担当ということで資料を取り扱い始めたことから、沿革史に携わるようになって行った、という次第です。

◆百年を共有しよう!

司会 外部業者などに委託せずに、全てを手作りで進めて頂いたことを知って大変感動するとともに、さぞや大変だったと思うのですが。

坂原 最初、委員みんなで集まり、古い高女時代のアルバムを繰っていくと、皆さん本当に生き生きとした良い顔をしてくらつしゃる。この学園で繰り広げられたこうした「青春のきらめき」といったようなものを、何とか再現できないだろうか、論じ合ったものです。その頃は竹早高校の先生方と同窓会とに余り連携がなく、先生方の記念行事へ

の関心も必ずしも高くなかった。それが、式典が近づくにつれ、本当に全職員が一丸になる、といった具合になり同窓会の方も次第に盛り上がりを見せいつの間にか、職員・同窓会が皆、一体になって動き始め、そこに「父母と教師の会」が参加して下さった。中原先生がはじめられた「百周年記念通信」など先生が果たした役割は大きかったと思

います。そうこうする内に、次第にテーマ、方向性が見える様になって来ました。永田 これから先、百十年、百二十年にも繋がる様なものにできないだろうか、ただ単に、在校生・卒業生・教職員が席を同じくしたというだけで無く、今までの百年、これからの百年が展望出来る、参加者全員が共感できるイベントといったものを模索しました。

坂原 参加された方々全員が共通の百年を体験し、そしてそれぞれが別れて行く。そんな式典にしたかったのです。細田 とにかく我々としては先ず百年を共有する、その時間を設けたいと思いましたが、これに合わせて作成したのが写真集「たずさえて友と」更にビデオ「映像でたどる竹早の百年」です。単に芸能人を呼んで来る、といった安直なことは止めよう、という方針でした。そうした式典を通じて、皆と一緒に「百年」というものを考えて見よう、そういう場にしたい、との思いが一番強かったのです。

坂原 同窓生達は、皆、この場所で三年間ずつを過ごしているのです。でも、その三年間のことだけしか知らないのです。だから百年を共有の流れとして観てみよう、ということ。式典で卒業生の一人、緒方さん(九回生、一九

五七年卒)が言つてらっしゃいましたね。「竹早つて、こんなに素晴らしい学校だったのだ」って。私たちが、一連の作業を通じて始めてそのことに気付いた驚きとか、喜びとか、感激とかを皆で分かち合おう、という思いはまさにそれだったのです。

◆何と「資料」が無い! 百周年の準備で、司会 写真集にしてもビデオ制作でも、ベースの資料集めが大変だったのではないですか?

細田 当時の教頭先生であった高原先生が、とにかく校内にある資料を掻き集めてまとめた資料がありました。他に薄い学校案内みたいな年報資料が全てで、資料集めに困つた挙句、学校裏にある明治三十三年第二高女発祥の地である光園寺というお寺や、その当時校舎が一緒だった女子師範で今の学芸大や、浜松町の東京都公文館に出向き関連資料を入手し、又、第二高女の卒業生の方からの聴き取りなどで、最初の夏休みは天野先生と駆け回りしました。

司会 その辺の事が、先ほどお話の「百周年通信」(以下、「通信」)に載っている訳ですね。
坂原 この「通信」が、結果的に、記念誌の前身に関わつて来ました。つまり、徽章(校章)について、だとか、発足後最初の林校長時代の事項だとか、運動会のことだとかでまとめて来たわけです。細田 高女の入学式の写真を初めて見た時、生徒さん達の顔つきが何ともあどけない、これは、写真を見なければ気がつかない点です。当時は学校制度の違いがあつて、尋常小学校卒業後、つ

まり今の中学生位で入学して、五年間の修学期間だったのです。普通、学校には創立式典の都度作成した資料が有つて、それを繋ぐなり、掘り下げて行けば自ずと年代史が出来上がって来る、そう思つていたので、百年前の資料集めから始めなくてはならず、間に合いそうも無い!。そこで発想を変えて、「記念誌」を作る前に、蓄積した「通信」用の写真だけを再整理しても年代史ができるぞと、写真集「たずさえて友と」です。これなら夏休み前には片付くだろうと取り掛かったのに、実際に出来上がったのは、更に一年後の夏休みになってしまいました。頁数も、当初見積りもりの七十頁を大幅に超えて百五十頁位になってしまいました。

◆徹夜の作業、同窓生の協力
司会 ビデオ「映像でたどる竹早の百年」は、セリフやバックの音楽なども丁度良い具合で、大変良く出来ていますね。中原 コンピュータ教室があるので、

最初は楽だと思つたのですが、静止画像である写真を、スリットと横に動かしたい場面では、どうしてもうまく行かずに悩んでいたら、スキヤナーで取り込んでおいた静止画を電子的に動かす、という技術が既に開発されているということが分かり、早速その技術を導入したり、ともかく「泥縄」という言葉がありますが、あの当時は、泥棒の縄をなうテクニクをマニュアル



片手に、読みなからようやく前進させる、そんな感じの繰り返して来たのでした。開校記念式典の当日に間に合うかどうか最大の課題になって来たのでした。

細田 生徒が帰ってから、夜遅くまで作業を続け、時には徹夜に近いことが何回もありました。傍らで見ているハラハラするだけでした。

永田 中原先生は、とりあえず試作品を作ってみようか、というお考えでした。或る段階で我々が、それを見せて頂いたのですが、全員が感動しました。坂原 その後、音楽が付いた時も大感動でした。美術室で見せて頂いた人が、職員室に跳んで来て「すごいよ、スゴイヨ！」って感じてました。

永田 あれで弾みが付いたって感じてました。全員の意欲に繋がった。司会 それから、ナレーションをNHKアナウンサーの内多さん(三十四回生、一九八二年卒)が担当されています。坂原 あれば、城戸崎会長がたまたまTVご出演の時、初めて内多さんが同窓生だと知ったそうです。その後、記念式典の打ち合わせで、司会役の内多さんと会長が同席された際、内多さんに「ナレーションをお願いしたい」と申し入れたら簡単に引き受けて下さり、トントン拍子で話を実現しました。

永田 竹早独自の式典内容にする前提で

したから、校長先生に従来の型を破るという考え方を何とかご理解して頂く必要がありました。最終的にお互いが納得する形になったことが、今日に繋がっているのだと思っています。坂原 来賓の方々の挨拶でも、出来るだけ型通りにならない様な工夫をしたい、と考え、大体その方向で進みました。挨拶の時間を短くする様、口を酸っぱくしてお願いました。実はそれが余り徹底しすぎ、時間が、七分間だけ空いてしまったのです。そこに緒方拳さん(九回生、一九五七年卒)が飛び入りでお話して下さいました。駄目を覚悟でお誘いの手紙を出しておきました。実際に絶妙のタイミングでご本人が現れて下さった。お蔭でその空いた七分が、ピタッと納まりました。司会の内多さんにも、急遽、お話を繋いで頂いたのですが、実に上手く行きまして。生徒達もすごく喜んでくれました。ドヨメキが起りました。さすがに緒方さんの魅力のすごさを実感しました。小森陽一さん(二十四回生、一九七二年卒)の記念講演も実施にたどり着きました。

永田 小森さんには、その講演で、本校の近くに在る小石川伝通院と夏目漱石との関連等を通じて、過去の日本の百年を振り返り、竹早の百年との関わりを探り、将来にどう結びつけて行くかをお話頂きました。更にこの講演内容は、目下編集中の「記念誌」に掲載させて頂くことになっております。

◆「記念誌」完成へ
司会 それで、その「記念誌」はどの位のボリュームを見込んでらっしゃるので

◆次の周年事業への提言
司会 先生方も何時までも竹早高校に在職するわけにはいかない、というお話を先刻伺いましたが、これから、百十周年、百二十周年に向けて、特に後輩達へのアドバイスなどが伺えればと思

細田 一つは、永続性のある編集室を設けてはどうか、という点です。幸い、帰国子女の受け入れ作業を行う部屋の一部を間借りして活動を続けておりますが、いつまでもここが使える保証はありません。もう一つ、人手の問題です。先ほど見て頂いた「資料集」の整理作業の殆どが、最近卒業したばかりの卒業生達に手助けしてもらって出来上がったものです。その三人のアルバイトが良くやって来て、最初はコピー撮りなどの簡単な作業から、段々

中身に関わる作業に入ってもらい、当時まだ出来ていなかった教職員の名簿(二覧表)を作ってもらいました。そのお蔭で、誰が何時から何時まで竹早に在職し、何を教えていたのか、それが分かるようになりました。

中原 僕はコンピュータの側面でお手伝いさせてもらいましただけに、せっかくセットされたネットワークを活用して頂きたいと願っています。

今、「指とま(ネットワーク画面のタイトル名・「この指とまれ」の略)という、全国の学校の卒業生が集まってやってくるページがあります。そこに四百名

位の同窓生が登録している非常に小さなページですが、その中へ学校の最新情報を入れて流してあげるといった手法が使えるのではないかと、思います。算会でもネットワークを持ちませんか、と、前からご提案しているのですが、全国の他校の同窓会ではやっていますので、竹早も是非実施して欲しいと願っております。

永田 今回の式典に緒方拳さんに来て頂いたし、小森さんにもご講演を頂き、創立記念式典というものが、在校生と卒業生との接点だということが、改めて認識されたのではないかと、私は思っております。同窓生の方々の中には、竹早って更に素晴らしい学校になるのではないかと思います。

司会 本日に素晴らしいプロジェクトを進めて下さいまして、改めて深く感謝申し上げます。とりわけ、本校の卒業生でない先生方が、ご専門外の作業を、それも、放課後の時間をご活用頂いてここまで完成して頂きました点、改めて厚く御礼申し上げます。本日は、お忙しい中、こうしてご対応下さいまして、誠に有り難うございました。

【追記】
坂原 先生より、以下の点をご連絡致したいとお申し出が有った。

一、本校一階、美術室と体育館ホールとの間に「T-square」なる広場が設けられています。ここでは、音楽

しょうか? 細田 大体、四百五十頁を見込んで進めております。但し、現在進行中のページで載せますと、六百頁になってしまいうので、今、削っているところです。坂原 原稿はあらかた出来上がっていて、今、その詳細の、詰めの段階です。その最後の詰めが大変なのです。細田 (第二高女時代と竹早時代、それぞれが二、三cm程の厚さがある「沿革史年表ファイル」を指し示しながら) この膨大な資料集には、主として「同窓会報」から抜き出した資料とか、先刻お話しした女子師範のもの、更には古本屋から大枚払って購入した掘り出しの会報のバックナンバー等から作成したものです。明治四十三年の創立十周年を期して「会報」の発行が始まっています。当初は年二回発行しています。それが、戦争が激しくなると一時中断して、戦後、昭和二十七年に再刊して、その後は、非常に断続的な発行になっています。更に一時中断後、九十周年の時に復活されたのです。で、最初からの通刊で六十号迄ありました。既にかなり切り詰めた「年表」となっていますが、未だ百六十頁位あって多過ぎるので、五十頁位に縮めて掲載することになります。間違いを避けるためのチェック作業にも結構な時間がかかります。司会 その大変さが良く判って来ました。細田 本校のシンボルのヒマラヤスギが一体何時からここに在ったのか、何時、誰が、どうして植えたのか、全く誰も知りません。結局、今判っている時期は、大体、関東大震災の後かな、といったところです。

永田 それだけ苦勞された資料集ですが、

会をやったり、チョットした講演会をやったりしております。第二高女時代からずっと算会は、種々の文化活動に関わって来たので、算会館記念基金を活用した文化活動ができないか、との仲原先生と岡本先生(音楽科)の発案で出来たものです。

二、私達の仲間には、学園紛争時代の卒業生達がございます。その時代の一人が、式典で講演をして下さった、小森陽一先生です。この時代の同窓生の皆さんに、是非、算会に目を向けて下さる様、お願いしたいと思っております。百周年記念事業等を通じ、学校や、同窓会と繋がりを持つてほしいと思っております。

三、写真集「たずさえて友」とは、新入生を迎える度に、少なくとも、ここ数年間はお渡しできる様、準備されております。従って、向こう数年の間の生徒・卒業生達は、この百周年事業の事を伝承して行く事になっております。

四、第二高女の校歌についても、作曲者 岡野 貞一氏の研究者がおられまして、私達の調査に対応する情報を頂く事が出来ました。その方が、どうしてもその曲を聞いてみたいとおっしゃって、式典当日、会場に見え、感動して、聴いて帰られました。





『隣人達のイスラームを見つめて』

『世界に開く文明戦略をデザインする』

東京大学名誉教授 (元竹早高校教諭)

板垣雄三先生

はじめに
同窓会の総会で、イスラームの話を開こうというのは珍しいというか変つていくというか(笑い) 私たちいつも中東などの勉強を風変わりと言われているのに耐えているので、こういう問題を取り上げられた事に、まず敬意を表したい。

イスラーム絡みによる世界の激変
20世紀最後の10年間、世界で起きた重大事件には全てイスラームが絡んでいる事に気がつく。

まずは、湾岸戦争(90-91)。イラクがクウェートを侵略・併合。撤退しろというなら、同じく領土をとって居座っているイスラエルこそ立ち退け、と国際社会は言うべき、と頑張る。そこで、ブッシュ(父)がやつつける。しかし何故か途中で止めて、あとは時々攻撃。イラクでは余り評判の良くないフセインだが、国民は、米がミサイル攻撃するなら団結しなくては、とまとまり、結果的にフセイン政権の延命を米が助けている。フセインの立場はイスラームと無関係だが、フセインは「イスラームの闘い」だといっている。

湾岸戦争の結末はソ連という国が解体したこと(91)。ソ連はアフガニスタンへの武力介入の泥沼にはまり込み、80年代から内部危機は進んでいたが、中央アジアのイスラーム教徒の抑えがなくなってきた。20世紀後半の東西冷戦の組み立てが変化してしまった。全て

イスラーム絡みだが長くなるので先に進めば、ざっとみても、ソマリアの地域紛争、アルジェリアの内戦状態、南アのアパルトヘイトの終焉、差別された「有色人種」にはイスラーム教徒もいた。ロシアではソ連崩壊後のチェチェン紛争、帝政時代からの問題である。

オスロ合意(93)が結ばれて中東和平は大きく動き出したが、アメリカは最初これを知らず、乗り遅れてはと後から駆けつけ、調印式を主催した。話のおこりは、北朝鮮がイランなどにミサイルを供与するのを食い止める為、イスラエルが北朝鮮に接近、両国の国交樹立まで視野に入れた秘密交渉を北京で行う。ところが、アメリカが知り「ならず者国家との取り引きは困る」と圧力をかける。しかし、イスラエルが北朝鮮と接触した事がその後の米の北朝鮮への関わり方を変えた。イスラエルは米の圧力で方角を変え、シモン・ペレス外相(94年ノーベル平和賞受賞)はそれまで認めなかったPLOとオスロで秘密接触し、パレスチナ人自治への過程を合意。欧米とイスラーム世界との新しい見通しが開けた。しかし、今は米の後押しを受けたイスラエルの横車で暗礁に乗り上げ、混乱状態。その他、ボスニア戦争(92)、イサラエボで「民族浄化」のイスラーム教徒狩り、環カスピ海を巡る石油問題、アフガニスタンでは仏像破壊で有名に

破るナシヨナリズムが起きてくる。

日本は、一九六〇年代が高度経済成長期。この間日本がどう変つたかは覚えておられるだろうが、何によって支えられたかといえば中東の石油。石油無しでは高度経済成長はあり得ない。まるで石油の上にプカプカ浮かんだ成長！中東の石油から如何に脱却するかと模索しても、依存度は増すばかり。現在、エネルギー消費量の八割以上が湾岸からの石油です。

ここでパンチを食らったのが一九七三年のオイルショック。中東の十月戦争(第四次中東戦争)で日本に石油を輸出しないという事がおこる。これは前年(72)イスラエルのテルアビブ空港で日本人赤軍派がおこした乱射事件に対し、「日本政府がイスラエルに謝罪の使節を送った」という背景がひとつにはある。「日本は中立ではない」日本の中東政策への問いかけとして、このアラブ・イスラエル戦争(十月戦争)で産油国は、日本とオランダをブラックリストにのせた。日本ではトイレットペーパー等の買い占めという喜劇的な事がおこるが、このオイルショックがきっかけとなって、高度成長は終り低成長へ。一九七三年は大きな転換期なのであった。

ところが、中東・イスラームが大事だという事にはまだ気がつかない。その時は「勉強しなければ」と大騒ぎをするが、二、三ヶ月でみんな忘れる。もの凄い健忘症！(笑い)。そして、一九七九年にはイラン・イスラーム革命(第二次石油危機)。又大騒ぎ！大企業の経営者達も目の色変えて、「この世の中、イスラーム問題抜きにしては考えられない」

なつたがタリバーンの出現(96)、無関係のようだがダイアナ妃の事故死(97)―相手はエジプト人富豪の息子、インド・パキスタンの地下核実験でついに対立する両国が核保有国に(98)、米国によるスーダン・アフガニスタンへの巡航ミサイル発射(98)、マレーシアの政権内部摩擦、インドネシアでのスハルト体制崩壊(98)、NATOによるユーゴ空爆(99)、ローマ教皇ヨハネパウロ二世の聖地エルサレム訪問(99)、中国の内陸部大開発計画は「新疆ウイグル自治区」等イスラーム教徒が多く住む地域をどうするかという問題、フィリピンではミンダナオ島等南部のイスラーム教徒の動きが激しい、朝鮮半島の情勢も中東情勢と無縁ではない。

日本の大転換はイスラーム問題から
このように見てみると、普段我々は「イスラームなんて遠い何処かの話」と思っているが、世界は絶えずイスラーム絡みで動いている事が判る。しかも、日本は国際政治を「成程、そうなのか」と見渡すだけの傍観者の立場にいないのではない。日本の戦後の進路は、イスラーム問題を機軸に展開してきたといつてよいからである。

一九四八年、米ソの支持でイスラエルが建国するが、何故出来たかと言えば、結局は中東のエネルギー資源に対する欧米の影響力確保の為。欧米の出張所ボストンの必要性から、アラブ世界のご真中で周りに睨みをきかす国として位置づけた。中東の石油資源は、その土地の人々の意志とは無関係に、欧米の側が動かす仕組みが、第二次大戦後出来上がった。これを突き

と言っていたが、二、三ヶ月でケロッ。私自身の事として考えると、十年に一度位の割合で非常に忙しくなる(大笑い)。事が起こると「何か言え、どうしたらよいか」と急に言われる。

イラン・イスラーム革命の波紋が消えた後の一九九一年が湾岸戦争。一九七三年が日本経済を線引きした区切りなら、今度は政治を大きく変えた区切りである。「憲法がある以上、自衛隊が海外に行く事などあり得ない」と九十年までは改憲論者達でさえ思っていた。ところが、湾岸戦争を境に自衛隊の海外派遣・PKO活動への参加が現実となり、国際社会の中で日本という国の在り方もすっかり変つた。

大切なことを忘れてる日本
同時に日本の政治風土やものの考え方にも大きな転換がおこった。

今も中東・ゴラン高原では日本の自衛隊がPKO活動に従事しているし、カンボジアにも自衛隊は派遣された。当初は派遣の是非・国際貢献の是非について色々議論があったが、中東和平が挫折した今、ゴラン高原で營々と働いている人達がいても誰も顧みない。新聞のどこを探しても何も書いてない。もうみんな忘れてる！。国内政治の方も忙しく変り、歴代首相の名前等順序立てて言えない程の目まぐるしさ。こういう日本の変化は全部イスラ

ム絡みなのだが、唯、事件そのものを忘れてるというだけでなく、根本の所を見落とし、見失っているのではなからぬ。最近も深刻に受け止めなければならぬ事件もおきてる。例えば一九九七年、エジプトのルクソールで日本人観光客を含む62名が殺害される襲

撃事件がおきた。古代エジプト観光旅行も安全ではない事が分かったが、一年後には解禁。すると、昔、そんな事もあったのかな！という程度になつてしまふ。今日、世界中至る所に観光・観光に出掛ける人は多いが、その土地はどうなっているのかとか、その土地の人々の暮らしや抱えている問題は何か等考えもしないで見物して歩いている。中央アジアの仏教遺跡に関心をもつて行く人は多いが、そこはイスラーム教徒達が住んでいる処。遺跡の写真だけ撮って、回りに暮している人達の事は見ないでどうでもいいという感じ。そういう観光旅行が如何に問題なのか、よく考えなければならぬ。

一九九八年タジキスタンで国連監視団の秋野氏(国際政治学者)がイスラム反政府勢力に射殺された。これは、国連に対する現地の反体制の問題なのだが、これからはボランティアも含めて国際政治の焦点である民族紛争の真つ只中で働こうとする人達にとつて、直面する問題はイスラーム問題―逃がられない。一九九九年にはJICA(国際協力事業団)から派遣された日本人技師がキルギスタンで人質に―震源地はウズベキスタンの反政府勢力でそれとの繋がりがだが、中央アジアにまたがる問題がおきている。

―変わる日本へのイメージ―

二〇〇〇年、日本の「アラビア石油」はサウジでの探掘権延長交渉がダメになり、利権を失って撤退した。丁度その交渉の最終段階(二月)に、私はサウジが主催する文化行事に招待されてリヤドに行ったが、着いた翌朝の新聞を見てビックリ！。どれをみて「日

本人は何時からこんな汚い商人になったのか」という強烈な日本批判の見出し。サウジの新聞は、バリ・ロンドンでも出しているの、結果として欧米を巻き込んだ日本批判キャンペーンに踏み込んだ訳である。シンボジウムでの私への質問も全てこの一点に集中。サウジ側からすれば、他の国一例えばアラムコ等全ての石油会社は70年代には国有化された。しかし、アラ石だけは国有化しないで日本の会社として操業を認めてきた。我々は重要なサインを送ってきたのに、それをどう思っているのか、というのである。当時この問題は日本でも報道されたが、サウジは付け上がっている、日本の足元をみて様々な要求を出してきてケシカラン。採算もとれないサウジの鉄道建設などに日本国民の血税を使えるか。石油なんて金で買える」という論調で、サウジ側の、日本と特別な関係を持ちたい、というサインは伝えられなかった。

今年一月にインドネシアで「味の素事件」。会社の責任者が取り調べられるまで発展したが、イスラムの習慣を考えないでよいのか、という現実を提示した。

私は一月に河野外相(当時)の「文明間対話をどう進めるのか」というテーマでの湾岸四ヶ国訪問に同行し、その後イラン・モロッコ・チュニジア・エジプトを訪れたが、日本へのイメージが大きく変化している事を感じた。少し前までは、何処へ行っても「おしん」ブーム。日本が「おしん」に託されていたのだが、今やバイオ、ハイテクによる「ポケモン」の国。しかし、湾

二十五年前、モスクワのドルシヨップで出会った一枚のニットウエアが、人生にこれほどの重みを与えるとは思っても見なかった。

その上ソ連の崩壊が我々の私生活に直接影響を及ぼすとも思ってもみなかった。

一九九五年、三十一回目の結婚記念日を創立日とし、アイスランドのニットウエアのみを扱う名目私を社長にして、主人と二人の小さな会社はスタート。アイスランドニットの特色はそのユニークな風合いと驚くほどの軽さ、保温性は勿論、ラフに扱っても丈夫でタフな性質。カシミア程ソフトタッチではないが、天然のラノリンで発水性があるのにカウチンやフィッシュアーマンのように重くなく、手入れは容易で高齢者やハンディーのある人々にも喜ばれている。

アイスランドの中堅の二社とエージェント契約を結び、ITの社会にあってもフェイスト対フェイスト程大切な関係はないと思ひ、昨年の七月には三度目のアイスランド訪問。奇遇なことに相手の社長さんの奥様がロシア人で、私どもはあちらでロシア語で仕事をし、十年以上もモスクワに駐在した私にとつては英会話よりいくらか楽だから...

仕事上で一番苦労したのは販路。アパレル関係に何の伝手もなく、しかもこの不況の船出。日本ではほとんど知られていない個性豊かなニットの説明にゆっくり耳を傾けて下さるお客様に

アイスランドニット に魅せられて

高校12回生(昭和35年卒)

山本 功子(旧姓米本)

なかなか出会えない。「パフィン・アイスランド」という店名で、電子モール楽天市場のテナントになった時は、四百数十店舗目だったのが今や八千店舗を越え、実に楽天だけでも星の数ほどといえる。

インターネットだからといって万能な訳ではない。殊に知名度の低いアイスランド製ニットを、この星群のようなホームページの中から当サイトに辿り着き、尚、数万円もの買い物を決心して頂くのは正にミラクル。とはいえない。

日本中は勿論、世界の果てからもアクセスできるホームページは宝の小箱。工夫と知恵でS.O.H.Oから自由に情報発信できるのは今までにならぬ大きな可能性といえる。

楽天の良さはそのソフトにある。あまり高度な知識がなくてもそここのサイトが作れるように良く工夫されている。毎日のように商品を入れ替えることも、バーゲン時期を望みのままに決めることも、自分で自在に簡単にできる。まだまだ勉強不足ではある。

又、三年前に生協の一組織である生活クラブを紹介され、その展示即売会でやっと説明を聞き、納得した上で買い求め下さるお客様に巡り会い、少しずつ販路も拡がりつつある。

アイスランドは大変魅力ある国。人

岸諸国では「ポケモン」は、宗教的立場から禁止されだしてきている。

五月には富山県小杉町で「コーラン破棄事件」がおきた。私も先日現場へ行き、まき散らされた中古車販売店のパキスタン人店主と会って来たが、日本も新しい時代に入った、という感じを受けた。

1 21世紀のビジョンはー

二〇〇〇年の世界人口統計では、イスラム教徒は20%、二〇二五年には30%以上になると推定されている。激しい人口増加に加えて、現在拡大している宗教なのである。日本人でも留学生の間に増え、国内でもイスラム教徒との結婚増加もある。アメリカでは、湾岸戦争時にクウェートからの帰還兵に広がり、アフリカ系にも多く、今まで社会・経済・文化等に大きな影響力をもっていたユダヤ人口に代って、多くなりつつある。20年先は世界の三人に一人がイスラム教徒になる事が予想されるが、例えばこの会場でそうなる事を思い描いて下さい。

今漠然とした不安の中ではつきりとした未来を思い描けないが、イマジネーションの力を持つ事がとても大事。日本では人口減少が進行しているから、社会形成の為には周りの国々の応援が不可欠。富山県小杉町の事件は、単に過去の事件ではなく、日本の未来のビジョンを浮かび上がらせる問題である。外国人労働者への依存度が、3Kといわれる分野だけでなく拡大してゆくと、今度は外国人を排撃するナショナリズムが強くなり、国内で民族紛争がおきてくる。世界でイスラム絡みの紛争がおきているな」とい

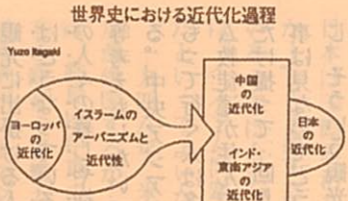
う外の話ではなくなってくるのです。以下は私の考えを説明するために作った「文明戦略マップ」です



着眼点:
①中東の中心性
中心性 ⇨ 辺境性
②西欧と日本の対称性。
ともに、イスラム世界(その核は中東および中東の拡張)の縁辺にあるが、ともに3つ巴の世界とアメリカ大陸とを同時に見渡せる位置にある。



着眼点:
①中東とアメリカ大陸の親近性。
両者はともに、世界全体を掴む。
②上記のことについて、中東では固有性、アメリカ大陸では後天性獲得性を認めなければならぬ。



着眼点:
世界史におけるモダニティを7世紀から展開しはじめたと考える。ヨーロッパ中心主義を組み替える必要。イスラムのアーバニズムとモダニティのヨーロッパ的展開がヨーロッパ近代。アジアの近代化は「西欧のインパクト」によって起きたのではなく、すでに早くイスラムのネットワークキックとともに開始された(インドのイスラム化、宋・元・明時代の中国社会の変化、日本の16世紀と江戸期)

編注1紙面の関係で講演内容の一部を簡約させて頂いた事をお詫び致します。

口二十八万弱の小国で厳しい自然条件の中、識字率90%に近い高い教育と文明を築き、全国どこでも安全なおいしい水が蛇口からほとばしり出る(以前日本もそうでした)。人々はシャイで余分なことは云わず、肝腎なところはしっかりと信頼し合える。

昨年十月待望の大使館が相互に開設。やっと大きな後ろ楯を得た思いで、日本の皆様に大好きなアイスランドとその伝統と技術に培われたアイスランドニック・ニットウエアを紹介することをライフワークにしている。加えてアイスランドをキーワードに思いがけず沢山の若い友達が出来、老後を楽しみ彩ってくれている。

お暇なおり是非左記ホームページへお立ち寄り下さい。万一お買い上げの際は備考欄に算会メンバーとお書き添え下さい。特別割引で提供いたします。

URL
<http://www.rakuten.co.jp/nab/>



竹早エコー

高女28回 (昭和3年卒)

森田鷹子

昨年暮、算国会報への寄稿の依頼がありましたので、現在十四名の級友の中、お返事の頂けそうな九名に御年賀状を出し、お返事頂けたのは八名でした。吉井孝子様は御独り住居、ハンゲル・習字の御勉強、御元氣です。小林安子様も御独り生活、謡曲も相変わらずで御見事です。

佐藤絹子様は若い方と御一緒に、読書熱心。最近市井のシニアグループに御通いの事。外出は主にくるま。

加藤菊代様はお手伝いの方と、広い御家で御元氣。先述の三名と森田で、年に二回位お部屋を拝借しておしゃべり。内藤花子様は京都で御独り住居、長い間関西算会のお世話なさいました。

津島左右子様は介護役の娘様がダウンされ、老人施設で車椅子とのこと。工藤美子様は御主人様没後、御不調でしたが、介護を受け、リハビリ中とのこと。

養老道子様は大分を引揚げ、千葉御宿のマンションにお住いの筈ですが、今回電話不通。

新井きく様は御家族と御元氣の御様子。川合英香様は御入院中、殆ど御寝みの由。有田喜子様、池貝恒子様、御身体不自由。八巻澄江様は消息残念ながら不明。

三月には全員九十一才になります。明治から平成。波瀾万丈の世代をよく生き抜いて来たと思います。私は平成元年の左人工股関節手術が故障なく働いて独り生活を満喫しています。昨年

末はカナダ在住のひ孫(生後九ヶ月女生児女児)が来日。ニコニコのお正月でした。
お寒い折柄、皆様の御自愛祈り上げます。

高女30回 (昭和5年卒)

小崎絢子(旧姓田口)

昨年の二十一世紀の幕開けは長い不況の上に同時テロに続く戦争が始まり不安な年でした。本年は安泰な年でありますよう願っております。算会は昨年開校百年を迎えて本年におめでとございしました。私達三十回卒業生は今年に卒寿を迎えることとなりますが、昨年のクラス会は十三名が集い、楽しい一日を過ごして学生時代にかえり、若がえったような心地でございました。卒業以来クラス会は甲乙合同、年二回でその外温泉に三泊したり、東北・関西方面に観光を度々し、旧交を暖めておりましたが、最近体力が衰えてお目にかかる機会が少なくなりました。

最近御永眠なさった方々は

小森道子様(小林) 島蘭昭子様(三宅) 峯岸邦子様(奥村) 磯田隆子様(佐々木) でございます。

謹んで御冥福を祈り御報告申し上げます。本年の卒寿のお祝いにはお誘い合わせの上、御出席をお待ち申し上げます。場所、日時など詳しくは追ってお知らせがあると存じます。住所変更の方は村瀬正子様(柳沢)にご連絡下さいませ。

東京都杉並区西荻南二一三二

高女39回紅組 (昭和14年卒)

谷田敦子

昭和十四年卒業の三十九回生は八十の太台に乗り、現在紅組二十八名、白組二十七名となつてしまいました。が、年一回クラス会を開き出席者達は元氣に健在を喜び合っております。校歌の「よき母となり師となる」の通り、皆様立派に家庭を守りつつ、人生の終りを生涯学習で充実した日常を過ごされております。体操教室を開いて長年健康体操の御指導に励んで来られた方を始め、編物の先生、長唄、謡曲、英語、俳句、短歌、油絵、コーラス指導、染色とそれぞれに活躍されております。

紅組のクラス会は三年前から福見さんのお世話で、東中野駅近くの「日本園」それも桜の開花の時と決めております。今のところ紅白別々のクラス会を開いて参りましたが、小学校から御一緒の方も多く、グループのおつき合もありませんので、いずれは紅白合同で思っております。

昨年一月迄にお亡くなりになつた方は、紅組の藤原(小杉) 華子さんと柴川(岡野) 圭子さんのお二方でございます。少しお具合の悪い方や御家族の御介護にお励みの方もいらつしやいます。何とぞ皆様お元氣でお互いに頑張つて参りましょう。

高女46回 (昭和20年卒)

神保 朝

二十一世紀初の若竹会を、昨年十一月十三日椿山荘のカメリアで開催致しました。幸運にもお天気に恵まれ、四十一名の御出席を得ました。
小林(幸) 先生、岡田先生には、御

都合悪しく、御出席頂けなかつた事は残念でございます。

皆様若々しく、激動の時代に生きながらえた者は、やはり底力があるのでと存じます。アフガニスタンのみならず、世界のあちこちで胸の痛むニュースがたえず写し出されるこの時に、こうしておだやかな陽のもとに、静かな木立に囲まれたお庭を望みながら、おいしいお食事を頂ける事の有難さに、うしろめたさも感じつつ、深く感謝致しました。

お互いに「お元氣そうね。」「実は……」等、年相応のおなやみも口に出て、そうこうしている、すっかりあの女学生頃の表情で、気分も一層若返るというもの。出席出来る事の有難さを痛感しております。どうぞお元氣に、次回もお一人でも多くの方にお目にかかれませう願っております。

昨年柴田(土生) 令子様、鈴木(関本) 栄子様が、お亡くなりになりました。御二方の御冥福を心からお祈り申し上げます。

高女49回・高校2回 (昭和25年卒)

多賀 泰子

え、古稀ですって私達が? それ位年を忘れた元氣集団です。二クラス百名と少数だった故か敗戦という過酷な時代を経た上、卒業も高女高校と別れたにも拘わらず会えば忽ち五十余年を飛び越えましまります。遊ぶ話でこの指とまれと言えは忽ち二、三十人が集まるのです。隔年のクラス会の間に非公式の小旅行を十年前から行ってありますが、今年古希を祝い春秋二度も参りました。家に籠らず外に出て刺激

を受けるのがボケ防止と心得ます。

ボケ防止といえは各分野で活躍されている方も多いのですが、中でも同期の誇り星野さんは二十年程前タイ在住の折、内戦による難民を救う為現地で大変な苦勞を重ねNPOの草分けといえる日本国際ボランティアセンター(JVC)を作られました。現在は教授になられた為後進に委ね特別顧問の地位です。同期の富安さんも同事務所を手伝っておられます。亡き御夫君も定年後の人生を共にボランティアとして捧げられ、若者達からお父さんお母さんと慕われておられました。単に貧しい人に金品を送るだけでなく学校を作り仕事を教えて自立を助けるJVCの方針に賛同した私達はお手伝いの替りにせめてもと貧者の一灯を送らせていた、たいしております。

高校3回 (昭和26年卒)

酒井三奈子

二十一世紀最初の算燦会を、平成十三年十月十九日快晴に恵まれて、銀座の太志満にて行うことが出来ました。

一ヶ月前

の九月十一日の貿易センター爆破事件から、第二次世界大戦を思わせる様な物騒なニュースが飛び交う中でしたが、出席者三十二名を教え、



高女39回紅組 (昭和14年卒)

谷田敦子

昭和十四年卒業の三十九回生は八十の太台に乗り、現在紅組二十八名、白組二十七名となつてしまいました。が、年一回クラス会を開き出席者達は元氣に健在を喜び合っております。校歌の「よき母となり師となる」の通り、皆様立派に家庭を守りつつ、人生の終りを生涯学習で充実した日常を過ごされております。体操教室を開いて長年健康体操の御指導に励んで来られた方を始め、編物の先生、長唄、謡曲、英語、俳句、短歌、油絵、コーラス指導、染色とそれぞれに活躍されております。

紅組のクラス会は三年前から福見さんのお世話で、東中野駅近くの「日本園」それも桜の開花の時と決めております。今のところ紅白別々のクラス会を開いて参りましたが、小学校から御一緒の方も多く、グループのおつき合もありませんので、いずれは紅白合同で思っております。

昨年一月迄にお亡くなりになつた方は、紅組の藤原(小杉) 華子さんと柴川(岡野) 圭子さんのお二方でございます。少しお具合の悪い方や御家族の御介護にお励みの方もいらつしやいます。何とぞ皆様お元氣でお互いに頑張つて参りましょう。

高女46回 (昭和20年卒)

神保 朝

二十一世紀初の若竹会を、昨年十一月十三日椿山荘のカメリアで開催致しました。幸運にもお天気に恵まれ、四十一名の御出席を得ました。
小林(幸) 先生、岡田先生には、御

ゲームを交えての、楽しい三時間余りの会でございます。現在も現役で仕事を続けていらつしやる方、お孫さんを開んで幸せいっぱい生活を送っている方。それぞれ親しく、近況を話し合ったり、又昔の話に花が咲いたり、和氣あいあいの集まりでございます。次回も又皆元氣で回を重ねたいと思っております。

一方悲しいことに今年も又お二人の方が亡くなりました。五月二日に手塚喜美子様、又十月十六日に栗田純子様のお二人で、一同心よりご冥福をお祈り申し上げます。

又創立百周年の記念として、母校の門から校舎入口までの間にモニュメントが作られたとことで早速見て参りました。夢の風と云う題で像は小堤良一様、台の陶器の部分は伊藤麻沙人様の作品でした。とても素敵な作品ですから近くをお通りの折には御覧になつてはいかがでしょうか。

算会のますますの御発展をお祈り致します。

高校7回 (昭和30年卒)

山廣 俊雄

高校時代は通過点に過ぎないと云う後輩に以前出会って驚いた。その人の在学中の学園紛争の時代背景を聞けばある程度納得出来ました。が……

昨年七月の同期会でも、卒業以来始めて出席した人、十何年振りかの人もほんの数分で皆打ち解けてしまふ、本当に良い仲間と出会えたなと、何時も同期会の度に感謝しています。昨年の会合の後、欠席の方々へ当日

の報告、集合写真、名簿訂正表と通信費払込のお願いを致しましたところ85名を越す方々から頂きました。(アメリカ在住の小野光子さんからもまとめて頂きました。)ご報告と共にお振込下さった方々へお礼申し上げます。お陰様で同期会の貯金も17万7千円と増えました。

昨年のお気付きの通り、前年平成11年発行の名簿も、このところの市町村合併やらで訂正がかなり多くなりまして、

高校9回 (昭和32年卒)

新井 礼子

私達9回生は、「九筆会」と名付けた同期会を、二年に一度開いておりませんが、その年が百周年の行事と重なった為、三年目の昨年平成十三年十一月十八日晚秋の午後「NHK青山荘」に於いて開催致しました。学級担当の辻・織戸両先生に加え、大西(布施)先生にも御出席いただきました。同期生は、五十一名で、北は山形・福島、南は広島、海外(オーストラリア)からの出席の方も



山登り・そして適度の酒。いいお爺・お婆さんになってください。今後ともご協力のほどをおねがいいたします。

高校14回 (昭和37年卒)

山内 亨

本年度の同期会は、十月十九日(土)に「フォーシーズンズホテル椿山荘」で開催します。

一九九〇年から始めた同期会も七回目。二十一世紀最初の集いは初めて秋に。第一回から連続でご出席いただいている本多先生や同期の友、今から賑やかで懐かしいひとときが楽しみです。振るってご参加下さい。

ところで、昨年は私たちの学年が八ヶ岳の「竹早山荘」を初めて利用させていたから四十周年ということで、五月十八・十九日に、同期の代表が清里の「山荘」に集いました(写真)。



全館貸し切りにしていただき、せいたくな部屋割と、新緑の中での心おきない語らいに、すっかり学生時代に返って夜遅くまで思い出話に楽しい時間を過ごしました。翌日は、駆けつけてくれた同期で、「森林インストラクター」の黛さんが自然林の中で木々や草花の名前、植生などを解説してくれ、さながら野外学習。大変

おられました。幹事長は交代制で、Aから始まり今回はEルームの担当でした。次回で一巡する事になります。会食・懇談・ビンゴゲーム・校歌斉唱・記念撮影と、いつものパターンでしたが、美味しく、懐かしく、楽しく、うれしく、旧交を温め、あつと云う間の三時間でした。久しぶりに出席した方の中には、お話に忙しくて、あまり食べられなかった人もいたようです。これからはいくつになっても、活気のある前向きな心構えで、日々過ごしたいと思っています。次回はFルームの担当で、平成十六年の予定です。又お会いしましょう。世の中に戦争(テロ)のない日が戻って来る事を、切にお祈り致します。

高校10回 (昭和33年卒)

角掛 隆

私たち10回生は同期会を昨年12月2日(土)に池袋の「鞍」で行いました。出席は約50名。小野、辻、加唐(間瀬)、本多、各先生方がおいでになり盛会でした。初出席の方は大久保節子(高山)、中嶋由美子(青柳)、赤沼紀子(吉村)、木村陽子(安部)、尾見淑子(尾留川)さんの5名でした。



好評でした。

高校22回生 (昭和45年卒)

猪狩 和子 (旧姓北川)

私たち二十二回生は、だいたい二年おきに同期会を開いています。会ってすぐ分かる人、全然分からない人、若く見える人、老けて見える人、様々ですが、各方面のいろいろな話が聞けて、毎回おしゃべりで盛り上がっています。子育て、仕事も一段落して、昔を懐かしむ年令になった様で、年々人数も増えてきています。



百周年記念祝賀会場にて

創立百周年記念式典、祝賀会には六名が出席しました。高校卒業以来初めて会う人もいて、また当時日本史を教えていただいた大森先生が、私達のタイムスリップして、三十数年前にタイムスリップして、高校時代の思い出話に花が咲きました。

今年後半に、同期会を予定しています。毎回出席されている方も、今まで一度も出た事がない方も、是非顔を出してみてください。私達の高校時代は激動の時代でしたので、人それぞれ、今でも、こだわり、を持つている方もあると思います。でも、新しい出会いや発見、思い切つて出てよかったと思う事が必ずあります。同期会で人生のオーバーホールをいたしましょう。多数の御参加をお待ちしております。

高校13回 (昭和36年卒)

塚原 公夫

狭山市狭山台三十三三〇二
042・959・7752
今ソルトレークの開会式をみている。同時テロ後の米国の威信と人間愛を見事に演出され人々に希望が輝く。私のE組は毎年秋に集い、竹早新校舎も見学した。昨年の年始はあの雄弁活達な中野先生の御葬儀に参列した。時に数人で忘年飲み会をかけ、葉た不況だ介護だ孫だと宣っている。昨年暮れは久しぶりに召集をかけ、五十名程の盛会となった。

卒後四十年・新世紀であり、この四月からぞくぞく皆、還暦である。昭和十七年の戦中に生まれ、食糧難を生き延びよくそ六十歳を迎えるとは、感無量であり、第二の人生への飛躍でもある。年輪を刻んだ久しぶりの友と延々四時間と宴会は続いた。

中には成功し四季報へ二名が載っていた。悪戦苦闘の経営者や転職組・窓際族等々。浮世の風は冷たいものだ。西川代議士も国会多忙に関わらず懐かしの淑女の間では高校生の顔であった。楽しいつかの間のひとときだった。ぜひ平成の女優の澤登史の御高説を頂いたり、八ヶ岳で、焼物と草木染めの内山女匠に会える日が楽しみだ。名士迷士沢山いる筈だ。名乗り出てほしい。海外に飛躍する人、嫁いだ人。この世界の何処かで活躍している話は嬉しい。また人生半ばで逝った名も聞く。同期生が今年の還暦を機に未永く旧交を暖め、交流の場を設けるべく企画をしております。人生は楽しくなくちゃ。ゴルフ・温泉・海外旅行。

高校28回 (昭和51年卒)

進 護

卒業後早や二十五年が過ぎた平成十三年九月二十二日に、我が同期約百名は竹早新校舎に集まりました。我々生徒側にて日程を決めさせて頂いたにも拘わらず当時の担任の先生方大竹脇子先生、濱和廣先生、山田徳蔵先生や美術担当の小野政吉先生までご参加下さいました。

全然変わらない若々しい奴や、それなりの年輪を積まれた方などそれぞれでしたが、語り合う内に皆あの頃にタイムスリップしてしまいました。

在校当時、巨人軍の長嶋選手が現役を引退、その引退試合が我が竹早に程近い後楽園球場で行われました。が、たまたまそれが月曜日のデイゲームとなつてしまい、クラスによつては午後から生徒が激減するという事態が発生、当然の如く翌日大変なお叱りを受けたことを鮮明に記憶しております。久しぶりに先生方にお会いした今回「実は、あの時は俺も行ったかったんだ」と、冗談めかしく笑い飛ばして頂き、二十五年経つて少しホツとした次第でした。たまたま今年長嶋監督の引退の年でもあり、時の流れを感じております。

卒業後四半世紀、初めての同期会に約百名もの仲間が集まることのできたのは、携帯電話やeメールなど通信手段の発達のお陰です。そして、なによりもみんなが竹早を理屈ぬきで愛するが故と思えました。

高校30回 (昭和53年卒)

石川 邦夫 (二二A)

二十年振りのクラス会
昨年十一月、二十年振りにクラス会を開催しました。但し、きつかけは大変忙しい出来事でした。

昨年八月、恩師の徳永先生がお亡くなりになりました。先生ご自身のメモ(病床で連絡する教え子等を記していたとの事)で訃報の知らせをいただき、連絡のとれた者だけでお通夜に参列しました。その時、誰ともなく同期生達の消息の話となり、クラス会をやるうとうとうことになりました。きつと先生が天国から、日々の生活に追われる教え子を見るに見かねて、旧友との再会をプレゼントしてくれたと思えてなりません。そして、そんな先生を生前、クラス会にお招きできなかった事は、自責と後悔の念でいっぱいです。(合掌)

クラス会は、二十二名が参加し(クラスの約半数)、集合場所では、お互いがわかるかなど不安な面持ちでしたが、(実際、ずいぶん変わった人もいた)卒業アルバムを片手に昔話に花が咲き学生時代に戻ったかのようでした。そして、今後も年一回程度のペースで開催していくことを決め散会しました。



ぜひ、今回参加できなかった人にも参加いただけるようお願いしつつ、筆をおかせていただきます。

高校32回 (昭和55年卒)

沢辺 いずみ

色々な事があった二〇〇一年が終わり、新しい一年が始まりました。昨年は算会総会に参加し、微力ながらお手伝いさせて頂きました。

さて、昭和55年卒の皆様は今どのように毎日を過ごされていることでしょうか。私達の年代は、仕事に育児その他に日々忙しかつ精力的に活躍していることだと思えます。なかなか友人と会う時間が取れないというのも事実です。卒業当時はまだ気楽で自由でしたが、現在同期会をすることに關していえば時間と場所の調整がなかなか難しいですね。

そこで私は昨年総会準備中に出会った同期の方々と考えました。先の話で鬼が笑うどころではありませんが、個々ではなく、全クラス合同で集えればいいなあと。単なる願望ですが、これから少しずつ各クラス規模で同窓会をしていって、二十年後位に(俗に還暦という年ですね。)できればいいなあと思っています。もうあの頃の彼女が変わったかな、なんてレベルは超越してしまいますが。

という事でいかがでしょうか。友人と会う機会にでも少し話をして下さい。きつと素敵なおじ様、おば様になつてると思えますよ。

高校33回 (昭和56年卒)

下田 信之

竹早高校を卒業してかれこれ二十年以上になる。不景気、テロ、そしてBSEなど何かと騒がしいこの頃であり、忙しさにかまけて竹早の仲間とは「会おう」、「会いたいね」のかけ声倒れ、賀状交換をするに止まっていた。そこに本原稿の依頼。近況もOKと言うことで一筆。

この頃は不景気(と個人の能力)の影響で我が家も節約モード。本も書店で立ち読みが恒例(書店、出版関係の読者の方ごめんなさい)であり、また子供向けのブースにいる機会も多くなってきた。しかし手に取る物は自分の子供向けと言うよりなつかしの本が多い。それを眺めていると過去に一瞬タイムスリップができる。あまり先のことを考えずに今を精一杯過ごしていた日々。そして竹早時代に行くのはサン・テグジュベリの「星の王子様」。この本はもつと小さいときから好きな本であったが、高校3年の竹早祭で我がB組がこの本をスライド劇に仕立てグランプリを獲得したのである。そのときも受験を控えた夏休み、受験勉強はそつちのけで人形作成、撮影、音声吹き込みなどみんなで頑張り完成させた思い出がある。

翻ってみると一見同じように今に精一杯(というより人手不足の中で自転車操業)の日々を過ごしているが、ずいぶん違いがある。懐かしむだけでなく、今一度自分に活を入れるための想い出にしたい。同時に二十余年ぶりのスライド劇上映会を何とか開催したいと思う。

高校52回 (平成12年卒)

田島 早苗

竹早を卒業してからまだ一年と少し、そんな時期に学年会(同期会)をやってみようかという話になったのは、算会総会がきっかけだった。

私達は幹事学年だったため、総会のアトラクションとして同じ学年の内田健一君と鈴木輝人君によるピアノ演奏を企画した。せつかくの機会だからできる限り多くの人に聴いてもらいたい、その想いから総会と同日に学年会を開くことに。「クラス会があったよ」という話題をちらほら聞くことはあれど、学年会はまた規模が違う。言い出した挙句、人が集まらなかつたらかなり寂しい。幹事メンバーにも不安の色が。しかし、総会にはこの学年から二十人程度の参加があり、内田君と鈴木君もスタジオジブリの名曲を見事に披露してくれた。総会の後、池袋で行った学年会にはさらに三十人ほどが加わって、賑やかな再会のひと時を過ごした。

学年会の不思議といたら、今さらながらに初対面の人がいたこと。思わぬところで友人が増えるなんて、嬉しいハブニングだ。当日参加出来なかった人とも、この連絡を通じて近況報告をしたら長話になったり…。そして、何か月も前から総会と学年会を盛り上げようと頑張った幹事メンバーに感謝。

高校53回 (平成13年卒)

別所 智樹

同期の皆さんお久しぶり！そうでない皆さん始めまして。二〇〇〇年度卒

業生の別所智樹です。現在は武蔵大学にて、学業に演劇にと精進しております(どちらかと言うと演劇に傾きがちなつたり)。ええと、同期会としての活動について、ということ、同期会とは少々異なりますが、私達の活動報告をさせて頂いたきたいと思います。

現在(二月)「目良先生ありがとう公演」なる企画を進行させています。これは私達が在学中に演劇部顧問としてお世話になった目良先生が、二〇〇一年度をもつて竹早高校から転任されてしまう、ということ、現役の部員と卒業生に呼びかけて進行させている企画です。この会報が配布されるのが四月ということなので、その頃には終了しているのですが(三月二十三日を予定)、呼びかけに応じてくれたみんなと公演の成功に向けてがんばっています(がんばりました、か?)。

皆さん忙しくてなかなかこういった活動はできないかもしれませんが、たまには高校時代の仲間と集まって何かする、というのもいいものです。そして、今の所は同期会の開催予定はないようですが、いつか必ずやりましょう！ではまた。

野球部

今井 大弥太 (高校22回)

「国広先生を囲む会」
国広功先生は、昭和三十年から同四十二年まで国語科教師、一方では野球部顧問として学業・スポーツ両面において数多くの卒業生の指導に当たられた。その後も国語教育、大学受験の分

野における活躍は卒業生以外にも広く知られるところである(奥様は昭和二十九〜三十一年まで国語科教師であつた旧姓高橋クニ子先生)。

先生が在職された約十五年の間に野球部に所属した卒業生たちが先生を囲んでの歓談の場、それがこの会である。毎年定例となつたのは平成に入ってからだが、竹早野球部というより国広野球部の一員としてグラウンドでまた諏訪の合宿で共に土と汗にまみれ、いわば裸のつき合いを今に続けてきている男たちの集まりである。



約十五代にわたる男たちのタテヨコつながりは太く、その結束は固い。そのメンバーの職業も生きざまも多種だが、先生を囲んでの同会では全員竹早の一卒業生にタイムスリップし、現役時代の思い出からその後の社会・家庭生活に至るまで話題は尽きない。かくして酒量も場の盛り上がりもピークに達し、自慢のノドを競うカラオケも満杯。やがて再会を期してお開きとなるまで、飲み、語り、歌う集いが続くのである。
追伸 野球部OB浅井哲男氏(高校10回生)が四十年に及ぶフェンシング界の活動に対して「藍綬褒章」を受賞。「日本フェンシング陣が、早くオリンピックで金メダルを獲得するのを、応援したい。」と語っていました。

学校の現状

安田 健(竹早高等学校教頭)

竹早高等学校は、昨年度百周年を迎え、今年度は新しい百年に向かってのスタートをきりました。
今年度の入試に際しては、毎年女子の人気は高いのですが、男子の人数が今一つで新一年生は女子が八名多い学年となりました。男子生徒は、女子のパワーに負けないで頑張つて欲しいと思います。

平成十三年度の主な行事を次に書きます。

一学期
四月六日 始業式
四月七日 入学式
四月十八・十九日 健康診断
五月一日 生徒総会
五月二日 校外学習
五月十六日 体育祭
五月十九日 P.T.A総会
五月二十八日～三十一日 中間考査
五月三十一日 避難訓練
六月二十二日 学校運営連絡協議会
七月三日～七日 期末考査
七月九日～十八日 午前二時間授業
七月十六日 歌舞伎教室
七月十八日 講演会
また、今年度から、父母と教師の会主催の夢探し講演会が行われました。

第一回目の講演会は七月十八日に本校の保護者の荻野勝朗氏に「幸せ人生、不幸せ人生 その分かれ道」という題で講演をしていただきました。
七月十九日 終業式
で、一学期が終了しました。特に印象に残ったのは、あの雨の中の体育祭でした。きつとどの生徒にも一生の思い出になったことと思います。
夏季休業中には、クラブ合宿が行われました。

また、休み中の学校見学会には五百名近くの中学生・保護者が見学にきました。
二学期は
九月一日 始業式・避難訓練
九月十四日 竹の子祭
九月十五日・十六日 竹早祭
十月二日～二十六日 中間考査
十月二十七日 オープンデー
十一月七日 開校記念日
十一月九日 学校運営連絡協議会
十一月十八日には都立高等学校の合同説明会が池袋のサンシャインで行われ、約百三十名程の中学生や保護者が竹早高校のブースを訪れました。
十二月十日～十四日 期末考査
十二月十五日 講演会
第二回夢探し講演会
東京大学の加藤隆史教授をお招きし

「身のまわりのハイテク化学」という題で主に液晶の話をしていただきました。
十二月二十五日 終業式
三学期は
一月八日 始業式
一月三十一日 推薦入学試験
二月十五日 帰国入学試験
二月二十一日 学力検査
二月二十五日 国際理解教育講演会
三月一日 学校運営連絡協議会
三月八日 卒業証書授与式
三月十二日～十五日 修学旅行(二年生)
三月二十五日 修了式
で、平成十三年度が終わります。
また、平成十四年度からは、週休二日に伴い生徒の学習援助ということで、父母と教師の会主催・算会共催というところで、土曜自習室を始めることになりました。
さらに、平成十五年からの新教育課程にむけて、四十五分七時間授業をすることを決定いたしました。
以上のように、本校の現状と今後について報告いたします。
今後とも、同窓会の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。また、文化祭などの機会には、母校へお立ち寄りください。
尚、今年の文化祭は九月十五日・十六日です。

総会報告

一〇〇一年算会総会を終えて

黒瀬 忠生 高校11回

平成十三年六月十日(日)
オペラシティスカイウインドウズ

昨年度百周年記念行事を無事に終え、二十一世紀を迎えた記念すべき年の総会である。当番幹事である高校11回生・32回生・52回生が力を合わせ、入念な準備を行ってきた。当日、一五〇名程の参加のもと、新宿副都心、代々木公園などが見渡せる会場で午前十時三十分開始された。

堀江の司会により、黒瀬の開会の挨拶、城戸崎愛会長の挨拶の後、議事に入った。
小山紀久氏が議長に選出され、審

議が行われた。小山豊子副会長から理事報告、平成十二年度事業報告、前川氏からの会計報告及び監査報告が行われ、疑義なく審議が終了した。つづいて、平成十三年度事業計画案、予算案が提出され、疑義なく承認された。
その後、角掛会報委員長より会報の発行について、竹野氏より百周年記念事業実行委員会の経緯について、それぞれ報告が行われ、無事総会を終了した。
引き続き、元本校の教諭であり、現在東京大学名誉教授である板垣雄三先生より「隣人たちのイストラムを見つめて：世界に開く文明戦略をデザインする」と題して講演をいただいた。鮮烈な内容だけに、皆、真剣に聞き入っていた。講演後、多くの質問が出され、時間が足りない感であった。

この後、懇親会に入った。司会を32回生の野口氏、高田氏が行ない、来賓の紹介をし、続いて新入会員の紹介を行なう予定であったが、新入会員(53回生)の参加がなかったため行なえなかった。十四年度はぜひ参加してほしいものである。(昨年入会の52回生は多数参加)
来賓を代表して磯山進校長に挨拶をいただき、筒井利行元校長の発声で乾杯し、歓談に移った。
途中52回生の内田健二氏、鈴木輝人氏によるピアノ演奏「スタジオリの世界」が行なわれ、会に花を添えた。
最後に全員で府立第二高女と都立竹早高校の校歌を斉唱し、池田の閉会の挨拶で散会した。
※講演内容は八、十頁に掲載

2001年算会総会決算報告

| | | | |
|-------|------|------|-------|
| 総会出席者 | 来賓 | 8名 | |
| | 一般会員 | 121名 | |
| | 学生 | 21名 | 計150名 |

| | | |
|------------------|------------|--|
| 収入 | | |
| 会費 (7,000 × 121) | 847,000円 | |
| (2,000 × 21) | 42,000円 | |
| 祝い金 (5口) | 82,000円 | |
| 算会補助 | 290,096円 | |
| 計 | 1,261,096円 | |

| | | |
|--------------------|------------|--|
| 支出 | | |
| 会場・懇親会費 | 1,115,748円 | |
| (吊り看板・ピアノ・土産代等を含む) | | |
| 講師謝礼 | 55,000円 | |
| 印刷費 (プログラム・出席者名簿) | 36,815円 | |
| 雑費 (宅急便・胸章) | 5,233円 | |
| 会議費 | 48,300円 | |
| 計 | 1,261,096円 | |

| | | |
|----------------|----------|----------|
| 算会会報発送庶務費 | | |
| 前途金 (3.14受領) | 100,000円 | |
| 支出 | 109,582円 | |
| 通信費 (はがき・印刷代等) | 19,270円 | |
| 昼食代 | 76,800円 | |
| 事務用具等 | 13,512円 | |
| 差し引き | -9,582円 | (6.11現在) |

以上 算会総会当番幹事 高校11回生

理事会報告

小山紀久彌(高校6回生)

平成十三年度は、次のとおり理事会を開催した。

○四月二十六日 (出席二十四名)

▽議題一 平成十二年事業報告及び決算報告について

対崎副会長から報告があり、新入会員名簿作成費八万円を加える修正を行って承認した。

▽議題二 平成十三年取支予算について 対崎副会長から前年度との相違点について次の説明があり、審議の後決定した。

一、年会費収入を百三十万円から二百万円に増額する。

二、新入会員名簿作成費として八万円を計上する。

▽議題三 平成十三年度総会の計画について

黒瀬理事から総会開催計画の報告があり、全員が了承した。なお新入会員については会費を無料とするよう提案があり今回限り実施し、次回以降については今後検討することとした。

▽議題四 その他

一、百周年記念に関する写真、ビデオは資料室に保管することとした。

二、向井正昭理事より健康上の理由から退任の申し出があり承認された。

三、百周年記念事業寄付者名簿に不備があったので完全なリストを作成してお詫びとともに早急に送付することとした。

四、小山豊子副会長から同窓会名簿を特別会計で今年度中に発行の予定であると報告された。

○九月二十日 (出席二十四名・委任状六名)

▽議題一 平成十三年度総会報告

池田明子理事から報告があり、その中で従来準備と跡始末費用が当番学年の負担としていた習慣を改め、総会諸費用に組み入れて欲しいと提案があり、全員が了承、決定した。

定した。

▽議題二 名簿委員会報告

高木萬里子理事から進行状況等について説明があった。これに対して関文隆理事から広告を入れる、渡辺信博理事からCD制作を、との発言があり、何れも今後検討することとした。

▽議題三 会報十三号について

小山豊子副会長から会計報告が会報には前々年度分となっているが、前年度分を掲載できないか、また費用の軽減を図れないか検討したいと提案があった。会報委員会の角掛隆理事から委員会検討したいとの発言があり、全員が了承した。

▽議題四 その他

一、坂原富美代理理事から百周年記念碑及び基金の活用状況について報告された。

二、渡辺信博理事から同窓会としてインターネットのホームページを開設するよう検討して欲しいとの提案があり今後検討することとした。

三、本間宏理事から記念碑の引渡し完了と今後の整備案が提案されたが、継続案件とした。

四、河村恵子理事から平成十四年度総会を六月二十二日、椿山荘で行う計画が報告され、全員が了承した。

○十二月十四日 (出席二十一名)

▽議題一 名簿委員会報告

高木萬里子理事から二月末日完成予定で、三月末までに発送する予定であると報告された。

▽議題二 百周年記念誌について

長峰康江理事から同窓会の章は一月中に入稿の予定、学校の章は今年度中を目標に進めているが、遅れからアルバイト料等が膨大になっているので担当者に厳しく申し入れると報告した。

▽議題三 百周年募金中間報告

小澤悦理事から収入額三千三百三十二万六千円で、記念碑、式典、アルバイト料その他支出を差引き、現在残高は百八十八万二千円であると報告された。

▽議題四 平成十四年度総会について

河村恵子、萩隆之介両理事から報告され、来年の卒業生全員の無料招待を試験的に行うこと、この呼びかけに要する郵便費用は総会の経費として計上してもよいと決定した。

▽議題五 会報委員会報告

角掛隆理事から四月末を発送予定とする日程、ページ数等の予定が報告された。なお、ホームページ作成の件は更に検討することとした。

○一月二十五日 (出席二十六名)

▽議題一 百周年事業関連の報告

本間宏理事から記念碑の引渡しを終了したこと、報告、坂原富美代理理事から記念誌の進行状況についての報告があり、記念誌については製作を急ぐよう要請して了承した。

▽議題二 平成十四年度総会について報告

河村恵子理事から総会の準備状況について報告がありました。

会報通信

会報委員長

角掛 隆 (高校10回生)

百周年報告号が終了号より再び紙がA4変形判になり、発送方法も郵送に戻りました。

今回は幹事当番である12回生のメンバーが中心となり、編集作業を進めました。特色を出す様にしたので編集会議では議論多出し、又予算を調整するのに苦慮いたしました。

毎回20名前後の方が協力してくれましたが、当番幹事が終ると会報の編集委員として一年位は残って協力してくれますが、二年目に入ると一人か二人位になってしまいます。創刊号からのメンバーは現在3名、七、八年いるメンバーが2名です。はつきり言って編集のプロは一人もいません。無報酬で協力をお願いしている訳ですので、先輩・後輩という関係だけで強制することは出来ませんが、印刷に関する知識、出版に対する知識、同窓会の約束事、等々、それらを纏めて発送迄の手順を無事に終了させるのは経験が必要とします。

文書やフロッピー等、原稿の集まり方がバラバラになっていきますが、これからはパソコンのソフトの知識を活かし編集作業をする事が主流となってきますので、今後フロッピーで原稿が集められる様な体制になってくると思われまます。メンバーがパソコンをこなせる年代に入ってきたのが楽しみです。今後、若い人達が会報委員会に参加して活躍して下さる事を期待します。

平成12年度会計報告
自・平成12年4月1日 至・平成13年3月31日

| | |
|-----------|------------|
| ●収入 | |
| 前年度より繰越金 | 15,021,646 |
| 入会金 | 1,920,000 |
| 新入会員240名 | |
| 年会費 | 1,261,000 |
| 総会会費 | 1,091,000 |
| 名簿代金 | 8,000 |
| 特別活動収入金 | 721,710 |
| 親副会・新年会 | |
| 広告収入 | 910,000 |
| 雑収入 | 10,002 |
| 受取利息 | 12,199 |
| 合計 | 20,955,557 |
| ●支出 | |
| 総会開催関係費 | 1,386,101 |
| 贈呈記念品費 | 396,303 |
| 新入会員名簿制作費 | 79,380 |
| 特別活動関係費 | 648,949 |
| 会報発行費 | 4,180,849 |
| 会議費 | 137,691 |
| 通信費 | 16,502 |
| 旅費交通費 | 54,320 |
| 事務用消耗品費 | 36,232 |
| 慶弔交際費 | 213,694 |
| 雑費 | 88,500 |
| 事務委託費 | 60,000 |
| 次年度繰越金 | 13,657,036 |
| 合計 | 20,955,557 |

平成13年度収支報告書
自・平成13年4月1日 至・平成14年3月31日

| | |
|-----------|------------|
| ●収入 | |
| 前年度より繰越金 | 13,657,036 |
| 入会金 | 1,936,000 |
| 新入会員242名 | |
| 年会費 | 1,992,000 |
| 総会会費 | 971,000 |
| 名簿代金 | 3,781,580 |
| 特別活動収入金 | 132,000 |
| 新年会 | |
| 広告収入 | 880,000 |
| 受取利息 | 6,817 |
| 合計 | 23,356,433 |
| ●支出 | |
| 総会開催関係費 | 1,261,096 |
| 贈呈記念品費 | 403,496 |
| 新入会員名簿制作費 | 75,915 |
| 名簿発行費 | 6,587,093 |
| 特別活動関係費 | 150,026 |
| 会報発行費 | 3,962,351 |
| 会議費 | 126,617 |
| 通信費 | 13,960 |
| 旅費交通費 | 53,460 |
| 事務用消耗品費 | 32,422 |
| 慶弔交際費 | 144,621 |
| 雑費 | 208,942 |
| 事務委託費 | 60,000 |
| 次年度繰越金 | 10,276,434 |
| 合計 | 23,356,433 |

筭会百周年募金協力者一覧 (続)

- 前回リスト記載洩れ分
- 高女40回 並木英子
- " 43回 斉藤信枝
- " 45回 輿石則子
- 平成13年4月1日以降振込分
- 高校10回 渡部秀子
- " 12回 西牧雄二
- " 14回 福田和恵
- " 17回 矢代文子
- " 42回 小林佳織
- " 53回 水室 傑
- " " 田村宏明
- " " 渡邊美子
- " " 土屋智行
- " " 樋口陽香
- " " 石川庸平
- " " 木場盛護

ご協力ありがとうございました。

年会費のご協力をお願いします

「13号へのご協力ありがとうございました」

会報は皆様の会費と広告の協力により成り立っております

※今年は年会費払込みと名簿の購入申込書が兼用の振込用紙となっております

1. 平成14年度会費 ￥1,000.-

2. 同窓会名簿購入 (1冊送料込み¥3,800.-) 申込 冊

*金額欄が空欄になっていますので1.2.に○を付け合計金額を書き込みの上、振込をお願いします

(おかげさまで30年!)

株式会社 アルク

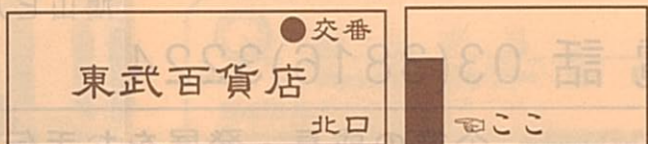
設立年月日 昭和47年1月11日
 資本金 4,380万円
 売上高 6,425百万円(平成13年3月期)
 事業の内容 包装資材の販売、包装機械及び周辺機器の設計、製造及び販売/
 合成樹脂原料、製品の販売・加工/
 空調用消音器の設計、制作及び販売/騒音の測定、対策及び施工

事業所 大阪支店、仙台営業所、名古屋出張所、群馬工場(音響実験室)
 従業員 80名
 関連会社 株式会社アズサイレント(空調用消音器の販売)
 有限会社アルク加工(プラスチック製袋加工)

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3丁目17番地 廣瀬ビル12F
 TEL.03-5281-5621 FAX.03-5281-5631

取締役社長 木本隆雄 昭和35年卒(高校12回生)

- ◎西池袋囲碁サロン 03-3985-3280
- ◎西池袋将棋クラブ 03-3985-5274
- ◎サンフラミンゴ 03-3982-9061
- ◎純喫茶フラミンゴ 03-3986-5638
- ◎酒蔵 鞍 03-3986-3926



←至新宿

至大塚→

西池袋ビルディング株式会社

代表取締役 恩田裕城 (昭和33年卒・高校10回生)

豊島区西池袋1-28-1 TEL 03-3983-4555 FAX 03-3986-3927

竹早高校同窓会の発展をお祈りします

同窓会 篁会

会長 城戸崎 愛(料理研究家)
 高女43回生

竹早高校同窓会の発展をお祈りします

湘南 篁会

会長 松本紀子
 高女41回生

御入会・お問い合わせ 高女48回 源中松子 0468-71-0299

専門体育教師による水泳・体育指導
 個性を伸ばしのびのびと明るい、元気な子をそだてる

日進まこと幼稚園

〒331-0044 さいたま市日進2-1048(丸広百貨店南隣り) ☎048-663-0938

第二まこと幼稚園

〒331-0044 さいたま市日進3-193(日進北小東隣り) ☎048-664-1785 FAX.048-665-0946

野尻国彦(昭和41年卒・高校18回)

稲毛皮フ科クリニック

院長 野平睦子 (高校12回生)

●診療時間:月・水・金曜日 am8:30~12:00

《JR稲毛駅東口前》

千葉市稲毛区小仲台2-8-20和英ビル2F

TEL.043-255-7400

ハヶ岳山麓 清里

竹早山荘

(MAPS 総合センター)

竹早山荘は MAPS 総合センターとして MAPS プログラムを推進していきます
いきいきと自分らしく過ごせる機会を、ハヶ岳山麓を舞台にして世代を超えた様々な人達に提供する MAPS (Mapping Activities for Powerful Spirits) 総合センターとして、プログラムをコーディネートしています。竹早山荘は宿泊施設としてだけでなく、日中の充実した時間を過ごしたい方にもプランをご用意します。どなたでも自由にご利用ください。
あなたがお気に入りの場所をつくり、満足な過ごし方ができるよう、きめ細やかなお手伝いをいたします。



●テラス・・・多目的に使えます。

竹早山荘 ガイド



所在地 〒407-0301 山梨県北巨摩郡高根町清里学校寮区

TEL.0551-48-2032/FAX.0551-48-3654

敷地 3.55ha(10,800坪)

施設 セミナーハウス、陶房、清里済々窯(穴窯、灯油窯)

多目的グラウンド(90m×50m、30m×20m等)

アーチェリー射場、野外キャンプ・草木染め他設備

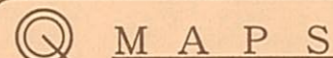
建物 鉄筋コンクリート2階建て

定員 約45~60名

宿泊室(12.5畳×5室、8畳×1室、6畳×2室)

研修室、食堂、ホール(ピアノ有)、浴場2、洗濯・乾燥機

図書、CD、AV機器、囲碁・将棋他研修設備



MAPS Mapping Activities for Powerful

MAPS 総合センター

〒407-0301 山梨県北巨摩郡高根町清里学校寮区竹早山荘

TEL.0551-48-2032/FAX.0551-48-3654

E-mail: takehayakai@dream.com

財団法人 竹早会

事務局 東京都文京区千石2-34-1

TEL03-3943-2415/FAX03-3941-1856

e-mail takehayakai@dream.com

友愛婦人会

会長 鳩山安子

昭和15年卒(高女40回)

中央区明石町8-1

聖ルカレジデンス1306

内海 晶

昭和27年卒(高校4回生)

〒103-0004
東京都中央区東日本橋2-2-9

TEL.03-3851-8544

みのり保育園

桑田玲子

昭和35年卒(高校12回生)

〒179-0081東京都練馬区北町6-16-14

☎03-3931-9444

政治をテッテー的にパロディで
嘲笑するWebサイト

「間違いだらけの政治家選び」

www.shinkiro.com

マッド・アマノ

天野正之(高校10回生)



奄美クルマエビ(株)

代表取締役 上野國衛

(昭和33年卒・高校10回生)

〒894-0506 鹿児島県大島郡笠利町手花部353番地
TEL 0997-63-2406 FAX 0997-63-1351

酸洗鋼板・熱延鋼板
シャーリング・スリット・
レベラーカット 加工販売

貴金属シール・サイン

泰誠産業株式会社

代表取締役 内山光政

(昭和33年卒・高校10回生)

〒110-0005 東京都台東区上野3-20-7
行徳ビル4F

TEL.03-3836-1068 FAX.03-3832-8072

----- 魚の好きな人の店 ----- 座敷、テーブル-----

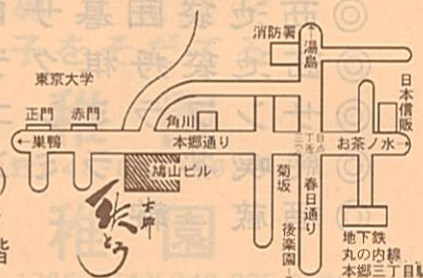
本郷 佐とう

昼: 11時半~1時45分 夜: 5時~10時 (休日: 日曜・祝日)

☎113-0033 東京都文京区本郷5丁目23番地12号

鳩山ビル地1階

電話 03(3816)3224



企業の成長・発展をお手伝いいたします

総合経営コンサルタントファーム

株式会社 M.F.B.

Management Forum & bureau

代表 加藤義郎 昭和37年卒(高校14回生)

〒659-0067 兵庫県芦屋市茶屋之町2-21-502

TEL:0797-25-5662 FAX:0797-25-5663

http://www.mfb.jp forum@mfb.jp

経営理念・ビジョン・経営戦略 → 長中期経営計画・経営課題

→ 商品開発・市場開発・新規事業

→ マーチャンダイジング・マーケティング

→ 販売力・営業力強化

→ 経営人材・管理職人材の育成強化